

市長と語ろう！タウントーキング 第12回 議事録

開催日時 平成23年10月30日（日） 午前10時～11時30分

開催場所 笠間図書館

参加者 市民 19人

《フリートーク（意見交換）》

1. 崩れかかった塀の撤去を指導して欲しい
2. 笠間地区の基盤事業について
3. 缶ビンのポイ捨てや犬のウンの放置を罰する条例を作つて欲しい
4. 笠間のまつりの補助金について
5. 恋人の聖地と別れの一本杉について
6. 自主防災組織のリーダー育成に力を入れて欲しい
7. 笠間公民館付近にカーブミラーをつけて欲しい
8. 荒町地区の電線類地中化について
9. 自主防災組織を小規模で結成することについて
10. 社会福祉協議会笠間支所の取り壊しについて
11. 大町会館の賃料を安くして欲しい
12. 程島公園付近の道路舗装について
13. 防犯灯・街路灯の管理について
14. 笠高通り歩道の笠間焼の陶板について
15. 学区編成・駅周辺開発・排水整備等について

《内容》

1. 崩れかかった塀の撤去を指導して欲しい

【意見等1】

今回の震災で、崩れかかったブロック塀が通学路にある。危険なので、市でそのようなところを確認して、撤去するように指導してほしい。

【回答1】

塀などの崩れかかったところがあり、市で何か対応できないかというご意見をいただくことがあります。基本的には持ち主の責任ですので、市としては持ち主の方に「危険ですので撤去してください」というお話をしています。ただ、工場自体が被災していたり、人が住んでいない家の塀が斜めになっていたりするようなところは、持ち主が知っていても経済的に撤去できるような状況ではないのが問題となっています。通学路など危険性が非常に高いところは、行政がやらざるを得ないと思っています。

【意見等2】

行政は、持ち主に対しての指導をして欲しい。撤去等については、行政がすべて行うのではなく、ボランティアなどの力を借りてできないだろうか。

【回答2】

おっしゃるとおりです。まずは、危険な箇所があつたら情報を市へいただきたいと思います。情報をいただいたら、持ち主にお願いします。持ち主がどうしてもできないというのであれば、行政でやらざるを得ないと思います。中には、お金は払うので、行政でやってくださいといった場合もありますので、状況に応じて対応していきたいと思います。

2. 笠間地区の基盤事業について

【意見等1】

石井地区、来栖地区などは基盤事業がなされていないため耕作放棄が進んでいる状況だ。条件が

よくなければ耕作できないので、各地区の農業委員が中心になって話を進めて欲しい。

【回答 1】

土地改良は、10 年前までは積極的に進めてきましたが、現在は予算がかなり縮小されてきました。土地改良をやるときには情報提供が必要ですが、市がやりませんかと投げかけるよりも、地元の方がやりたいというのであれば、市は積極的に動きます。そういうた話があれば、情報提供はしていきたいと思っています。

【意見等 2】

農政課の職員には、個人情報なので耕作地の情報を教えることはできないといわれた。そうなると個人では進めることができない。農業委員が中心となって進めることはできないのか。

【回答 2】

農業委員の方がお手伝いをすることは可能ですが、基盤整備をする上では、一番は地主さんですので、土地改良をする動きがあり、趣旨を話していただければ、情報を提供することは可能です。市のほうから、土地改良をしませんかと呼びかけはしません。

土地改良は、地主さんやその地域の方たちが積極的になつていただかなくてはいけないと思っています。土地改良をしない場合の排水路の整備は個人負担になつてしましますので、個人の持ち出しが増えてなかなか進まないという現況があります。

【意見等 3】

農道整備を個人でやっているが、そういう問題も農業委員がきちんと機能すれば解決するのではないか。

【回答 3】

農業委員会は活動が見えにくいというご意見もいただいていますので、農業委員会にはそういうご意見があったことを伝えます。

3. 缶ビンのポイ捨てや犬の粪の放置を罰する条例を作つて欲しい

【意見等】

缶やビンなどを人の土地に投げ捨てている人がいる。そういう人を罰するような条例を作つてほしい。また、犬の粪を片付けない人がいるので、こういった人も罰するような条例を作つてほしい。

【回答】

缶ビンのポイ捨てや犬の粪の始末などは、モラルがあれば起こらない問題ですが、今の社会は決まりを守らない人たちが多くなつてしましました。広報したり、看板を立てたりしてもなかなか守らない人がいます。以前は、罰則などなくても守る国民性があったわけですが、それが変わってきています。自治体の中には、たばこや空き缶のポイ捨てに対して罰則規定を設けているところもあります。条例で罰則を設けることについては、検討させていただきたいと思います。

4. 笠間のまつりの補助金について

【意見等】

笠間のまつりは 700 万円かかると聞いた。観光イベントを開催するときには、市のお金をかけすぎているのではないか。

【回答】

笠間のまつりには、約 700 万円、ふるさとまつり in かさまには約 800 万円を支出しています。この金額が高いか安いかはいろいろな議論があると思います。笠間のまつりは 20 年続いており、相当な人出もありますので継続していきたいと思っています。ふるさとまつり in かさまもいろいろな方々が来て、大変喜んでいただいている祭りなので継続していきたいと思っています。それぞれ、市の負担を減らすために広告料を集めたりするなど努力はしていただいており、以前は 1,000 万円くらい支出していたのですが、少しづつ減らしています。今後も、できるだけ市の負担は少なくしていきたいと思っています。

5. 恋人の聖地と別れの一本杉について

【意見等】

恋人の聖地として立派なモニュメントが芸術の森公園にできたが、近くに高野公男さんの別れの一本杉の石碑があり、歌が流れている。歌だけでも少し緩和できないだろうか。

【回答】

別れの一本杉は、恋人の聖地にはアンバランスではないかという話も聞きますが、高野公男さんの記念碑を訪れる方もいますので、大切にしていきたいと思っています。歌が流れ、歌詞が恋人の聖地の雰囲気にそぐわない感じもしますので、少し対応を考えたいと思います。

6. 自主防災組織のリーダー育成に力を入れて欲しい

【意見等】

今回の震災では、自主防災組織が機能したところとそうでないところがあった。自主防災組織の結成に助成するということなので、自主防災組織のリーダーの育成にも力を入れて欲しい。

【回答】

だいぶ以前に自主防災組織を立ち上げた地域は、自主防災組織に対しての意識が薄れがちになっていたということは事実だと思います。震災の直前に立ち上げたところは、機能を十分に果たしていました。我々としては、自主防災組織間の横の連携を考えていきたいと思っています。自主防災組織の代表者に集まつていただき、連絡協議会をつくり、専門家を呼んで講演会を開くなど、常に意識付けを行っていく必要があると思っています。来年度から行えるように検討しているところです。

7. 笠間公民館付近にカーブミラーをつけて欲しい

【意見等】

笠間公民館のガードレールが急カーブになっているところに、交通量が増えてきたのでカーブミラーをつけてほしい。

【回答】

危険がないように、カーブミラーは設置していきたいと思っています。

笠間公民館の脇に武道館を新しく造る予定でしたが、震災のため、来年度に延期しました。古い武道館を壊し、駐車場の出入り口をつける予定です。今は整備途中の段階なので不便なところもあると思いますが、ご理解いただきたいと思います。

8. 荒町地区の電線類地中化について

【意見等】

荒町地区の電線を地中に埋設することはできないか。

【回答】

現在門前どおりの整備計画事業を実施しているところです。その協議委員会の中で地下埋設の議題は出ました。歩行者の安全を確保するために、市街地の電柱などを地下埋設にしたらよいのではないかという話がありましたが、道路の構造上、地下に埋設する場合は、多額の予算がかかるということと、かなりの大きさのボックスが必要になりますが、それを入れるスペースがないということから、現段階では非常に難しい状況です。水戸駅から大工町付近の国道 50 号は地下埋設になっています。それくらいの歩道スペースがある場所なら可能ですが、なかなか市街地で設置するのは厳しい状況です。

確かに稲荷神社の前の通りなどは、地下に埋設した方が景観的によいと思いますが、歩道にある一定の幅がないと設置するのは難しいです。

9. 自主防災組織を小規模で結成することについて

【意見等 1】

笠間女性会と地区の民生委員と一緒に自主防災組織をつくらないかという話があつたが、小さな

規模で結成してもよいのか。

【回答 1】

自主防災組織を結成するときは、あまり戸数にこだわらない方がよいと思います。行政区単位で結成しているところもありますし、区を超えて結成しているところもあります。ただ、あまり少ない戸数だと支えあいができませんので、行政区くらいの規模で結成するのがよいのではないかと思います。

例えば区長さんを中心に女性会の皆さんにも入ってもらって、組織をつくり、女性会の皆さんは炊き出しの役割を担うなど、役割分担をしておけばよいと思います。

自主防災組織という形ではなく、一人暮らしのお年寄りを把握しておいて、何かがあったときに支えてあげようということであれば、自主防災組織とは別に民生委員さんと地域の方と一緒にやつていくという方法はあると思います。

自主防災組織では、町内の地図を作り、地図に一人暮らしのお年寄りがいる家や井戸のある場所、危険なブロック塀の場所などを地図に記しておき、その地域の全世帯に配布して情報を共有できるようにお願いしています。

【意見等 2】

以前、民生委員さんと一人暮らしの老人にお弁当を届けたら、家の中で人が倒れていたことがあった。そういうことや今回の東日本大震災が起きたことなどから、地域での助け合いが必要だと感じた。市民が自主的に防災組織や連絡組織を結成する際には区長さん中心に行つた方がよいのか。

【回答 2】

すべてを区長さん中心に、というわけではないとは思いますが、行政に関わったり、地域の課題に取り組んだりといったことは区長が中心になって進めた方がよいと思います。

自主防災組織を結成する際には経費として 10 万円、発電機等の資材を揃えるのに 20 万円の合計 30 万円を市が助成しています。

10. 社会福祉協議会笠間支所の取り壊しについて

【意見等】

社会福祉協議会笠間支所が取り壊されることになっているそうだが、修繕して地区の集会所として使わせてもらえないか。

【回答】

過日、社会福祉協議会を地域の集会所として使わせてもらえないかという話がありましたが、それは区の考えなのかどうなのか、とりまとめをしてきちんと話をしてほしいということはお伝えしました。2、3日前に要望書を提出したとのことなので、それをよく見て対応をしていきたいと思います。

市役所が許可を出す場合は、被害の程度などをきちんと調査してからになりますので、少し時間はかかると思います。これまで取り壊すことを前提に進めてきていますので、方向転換をどうするかということを内部で協議しなければなりませんし、地主さんにも聞いてみなければなりません。よく要望書を見て、できる限り地元の皆さんの意向に沿うように進めていきたいと思います。

11. 大町会館の賃料を安くして欲しい

【意見等】

大町会館を使って集会などを行いたいが、賃料分の会費等が足りないので、リハビリ体操もできなかったり、子ども会の集まる場所がなかつたりで困っている。もう少し、市で賃料を安くしてもらえないか。

【回答】

市では、施設については使わないよりも使っていただいた方がよいと思いますし、地域のためにも集まる場所があつた方がよいと思います。施設を利用する際の負担金はある程度、払っていただくことになりますが、区長さんをはじめ、皆さんでよく話し合って活用してください。

12. 程島公園付近の道路舗装について

【意見等】

程島公園付近の道路を舗装してほしい。

【回答】

よく調べてみますが、道路として使う必要性は低いと思います。要望はあがっていますが、優先順位は低くなっています。

13. 防犯灯・街路灯の管理について

【意見等】

市道の防犯灯や街路灯の管理については全部、市で行って欲しい。

【回答】

道路の交差点などに建っている街灯は全部、市で行っています。防犯灯は行政がつけるものと地域でつけるものがあります。行政でつけるものは、市が全額負担し、地域でつけるものには補助を出しています。地元で必要であるものは、補助を出すので地元で設置していただき、行政では、一定の距離などで必要最小限のものを設置していきます。地元で設置したものは、電気代などの管理もお願いしています。

電柱を利用して防犯灯をつける場合とポールを新たに建てて防犯灯をつける場合と2種類の補助金があります。電柱を利用して防犯灯をつける場合は補助金が低くなっています。電柱を利用するのか、ポールを新たに建てるのかは地元の判断で決めていただいている。

地元の方から要望があったからといって、要望すべての防犯灯をつけるわけにはいきません。基準に沿ってつけています。

14. 笠高通り歩道の笠間焼の陶板について

【意見等】

道路の工事をする際には、道路の使用許可と占用許可を受けなければならないが、笠高通りは県道なので県に申請した。笠高通りは歩道部分に陶板がありますので、笠間焼協同組合に問合せしたところ、陶板は昔設置したものなので、同じ色がないとのことだった。その旨を県に伝えたところ、県道路管理課から同じ色の工業製品か、色味が似ている笠間焼の陶板にしてほしいということを言われた。一事業者では陶板の作成費用を負担するのは難しいので、県で笠間焼の陶板をいくつか所有して、それを事業者が購入するような方法にできないか。

ライオンズクラブの道路の陶板も破損している。また、その歩道部分の花が枯れていて植え込みをしたいが、どこに言ったらよいのかわからない。

【回答】

もともとの道路には笠間焼の陶板が貼ってありましたので、陶板を使用するのは基本だと思います。去年、割れたところを補修しましたが、そのときは笠間焼協同組合で作製していただき、陶板の在庫はもうないと思います。色味についてはある程度、臨機応変に対応していくべきだと思います。また地震で壊れたところがあるので、陶板については笠間焼協同組合に話しておきます。

歩道の低木の植え込みについては県道であれば、県に話をします。

15. 学区編成・駅周辺開発・排水整備等について

【意見等】

学区編成のことで、児童・生徒数が減っている学区の人たちは不安に思っている。水戸線沿線の小さな学校にはスクールバスで子どもたちを送迎すればよいと思う。定住化を図るために、駅近くの土地を利用しやすいようにして欲しい。企業が進出しやすいように、排水整備した道路を造って欲しい。岩間第二小学校学区は、企業が進出しやすいようにいつまでに整備をするというようなことを具体的に示して欲しい。

【回答】

いろいろ事情がありますので、よく検討したいと思います。